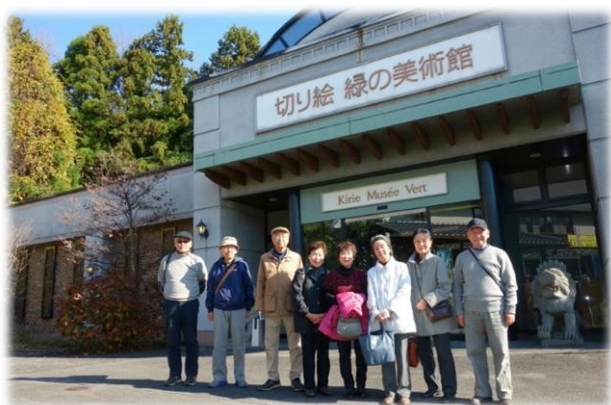


クラフトクラブ②

「切り絵 緑の美術館」を訪ねて

2017.11.15 Wed



27期校友会のクラフトクラブでは、11月15日(水)に伊香保の「切り絵 緑の美術館」に行ってきました。参加者は8人で、幸いの秋日和に恵まれ快適な一日でした。



【石井一臣氏 作品】



美術館では、石井一臣氏の素晴らしい切り絵作品に息を呑みました。石井氏は、日本を代表する切り絵作家であり、小川和紙を使用した独自の切り絵の世界は、日本のみならずアメリカ・シアトルを初め、欧米での30回以上の個展を通じ、高く評価されています。その作品はどれも暖かく、気品があり、風景画においても切り絵でなければ出し得ない、独特の風格が発揮されています。

それらの作品を鑑賞後、水澤観音の近くでうどんに舌鼓を打ち、12月25日から川越のアトレ6階ビーポケットで開催する私たちの「切り絵作品展」の打ち合わせを行いました。



〔水澤観音にお参り〕

その足で坂東 16 番札所の五徳山水澤観音をお参りし、六角堂では皆で六地藏尊を回転させて地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天の六道輪廻を体感しました。釈迦堂では釈迦三尊を初め、坂東三十三霊場の仏様を一度に礼拝することもできました。

それよりも何よりも目を見張ったのは、仏閣の周囲を巡る紅葉の燃え上がるような朱色の見事さでした。青空にせり上がり豊かな陽光を受けて光る紅葉の、まるで両国の花火かと思わせる美麗さに、クラフトクラブの面々は大満足の歓声。



〔ジョイフル本田で切り絵素材を獲得〕

さてその後は、高速を走って群馬県太田市のジョイフル本田新店に到着。

ここでは皆が真剣な目をして、切り絵に使用する黒い紙やカッター、その替え刃、作品を入れる額、カッティングマットなどを物色し、それぞれの必要とするものを購入しました。

ここには専門的な用具があれこれ揃っているのです、時折買いに来るのです。各自の収穫したものを大袋に入れて抱きしめ、満足顔で帰途につきました。



朝出発した東松山駅まで帰着すると、車を出し安全運転もしてくれた松本寧さんに皆で礼を言って、今日の研修旅行を無事に終えたことを喜び合った次第です。

クラフトクラブの皆さんの心地よいグループ行動が、いつまでも続くように心から祈っております。

清水（記）